



“キラキラの表情を見逃さない”

早いもので、今年も最後の月となりました。少し冷たい北風が、たくさんの落ち葉を巻き上げて通り過ぎていきます。そんな木枯らしに向かっていくかのように、元気に外へ飛び出していく子どもたちです。

春、夏、秋を子どもたちと過ごし、残りの冬を迎えようとしていますが、春にはどこか頼りなかったそれぞれの顔が、3つの季節を駆け抜けて、すっかりたくましくなりました。朝門の前で立っていると誰よりもそのことを強く感じます。

12月は師走の名にたがわず、駆け足で通り過ぎていきます。心の余裕を忘れず、子どもたちのキラキラした表情を見逃さないようにしていきたいと思っています。



“こんな親になってほしい！”

【第19回】「子育ての基本は『やさしさ』である」

他人に迷惑をかけたり、友達をいじめたりした時には、厳しく叱るべきです。しかし、子どもが緊張した一日の園生活を終えて帰るとき、「今日もこども園頑張ったね!」とやさしい言葉をかけてあげること。友達と些細なことでもけんかし、落ち込んでいる時にやさしく見守り、カづけてやること、それが親の役割です。

我が家の長男が17歳の時、仕事中にわたしの携帯電話が鳴った。泣きじゃくりながらかけてきた電話の内容を要約すると、部室に置いていた、部で買ったばかりのファーストミットが無くなり、かれこれ3時間近く探しているとのことだった。

急いで、野球部の顧問に連絡し、わたしが弁償することを伝え、長男への指導も一任していただくこととなった。いつもは人一倍厳しく口やかましい父親が、何も叱らなかったことに長男はさぞかし面食らったことであろう。

その年の冬、長男が帰省した。クリスマスにおしゃれなシャツをプレゼントしてくれた。昨年結婚した長男との親子関係は今も良好である。



【園長からのお願い】

- 1 朝8:45までの登園に御協力ください。(余裕をもって一日の園生活に入ることとはとても重要です。)
- 2 休みの日も通常と同じ時刻に寝させましょう(就寝時刻の一定化が生活リズムづくりの基本です。朝、良いスタートを切るためにお願いします。)
- 3 持ち物に記名をお願いします。(靴下や下着にもお願いします。)